

近赤外光を利用した収穫後の品質保持 ーシシトウ用照射装置ー

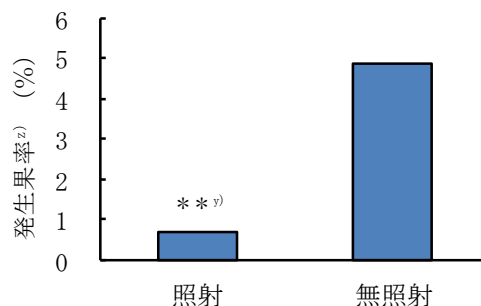


図 近赤外光照射の有無がシシトウ果実のへた腐れ病発生果率に及ぼす影響
(4月の東京市場への輸送試験、照射3日後)

z) へた腐れ病が発生した果実の割合をパックごとに調査し、平均値で示した。
y) **はt検定により1%水準で有意差があることを示す。

写真 シシトウ用照射装置 (上：全体、下：稼働中)

近赤外光は可視光線と赤外線の間での波長で、農作物ではみかんの糖度センサーなどに使われる光ですが、青果物の品質保持にも役立つことが発表されています。本県では、この技術の特許を有する企業と装置の開発に携わる企業と共同で、市場病害が問題になっているミョウガ、シシトウ、ナス、ユズの4品目に対して、それぞれに適する照射装置の作製および効果の検証を行っています。

ここでは、シシトウについて紹介します。写真の照射装置はシシトウを投入口に入れ

ると少量ずつ持ち上げられ、水平コンベアの上で果実が重ならず広がって、均等に照射される構造になっています。照射処理したシシトウに、へた腐れ病菌を接種して東京の市場へ送る試験では、無照射より病気の発生が少なくなりました(図)。ただし、試験によっては効果が確認できない場合もあり、引き続き検証を行っています。なお、本研究は「革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)」を活用して実施しています。

(品質管理担当 野村朋江 088-863-4916)

高知県農業技術センターニュース 第93号 平成30年10月1日

編集発行 高知県農業技術センター 所長 石本 周平

農業技術センター

〒783-0023

高知県南国市廿枝 1100

TEL (088) 863-4912

FAX (088) 863-4913

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

果樹試験場

〒780-8064

高知市朝倉丁 268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2013>

茶業試験場

〒781-1801

吾川郡仁淀川町森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2014>